

- 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえ、受発注者双方に最低7割、極力8割程度の接触機会の低減が求められており、例年に比べて、入札契約事務作業が遅れる可能性。
- そのため、入札契約手続き全般の柔軟な対応等の特例的な対応を行い、受発注者双方の負担を軽減し、できるだけ早く入札契約手続きが進められるよう努力。
- 併せて、「三つの密」の回避等の感染拡大防止対策を徹底。

<入札契約>	<p>入札契約手続き全般の柔軟な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格確認申請書及び資料等の提出期限の延長 ・ヒアリングの原則省略 ・技術提案のテーマ数や提案数は必要最小限 ・総合評価委員会等のテレビ会議等活用した効率化 等
	<p>発注ロットの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難易度が比較的低い工事は上位等級工事への参入、比較的高い工事は下位等級工事への参入を可能
	<p>直轄事務所発注工事における指名競争入札の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加者が少数と見込まれる比較的难度が低い工事について、入札参加意欲を確認し、施工能力を評価する方式（指名競争・総合評価落札方式、フレームワーク方式）等
	<p>概算数量発注の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な概算数量の設定や条件明示の徹底により、適切に設計変更
<設計積算>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に係る費用の適切な設計変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費 ・現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料 ・現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用 ・現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用 ・遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費
<施工段階>	<p>検査、打合せ等の実施に当たっては、可能な限り電話、インターネット等を活用</p>
	<p>工事書類や中間技術検査の簡素化、遠隔臨場の積極的活用</p>
<成績評定>	<p>感染拡大防止を図るために柔軟な対応を行った場合でも成績評定で適切に評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止を図るために災害防止協議会や訓練等の時期を調整する 等